

## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社城南進学研究社 上場取引所 東  
 コード番号 4720 URL <https://www.johnan.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 下村 勝己  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員CFO (氏名) 杉山 幸広 (TEL) 044-246-1951  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,113	△23.2	△332	—	△319	—	△338	—
2020年3月期第1四半期	1,450	5.8	△407	—	△403	—	△371	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △314百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △371百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△41.99	—
2020年3月期第1四半期	△46.12	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,726	3,543	61.9
2020年3月期	6,564	3,941	60.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,543百万円 2020年3月期 3,941百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では業績予想が困難であるため未定としております。今後、予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

今期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難であるため未定としております。

また、2020年7月16日付けの「ホームページに対する不正アクセス及びお客様情報の流出の疑いに関するお知らせとお詫び」でお知らせしましたとおり、当社の公式ホームページを管理しているWEBサーバに、第三者による不正アクセスがあり、ホームページ内のデータの消失とお客様の個人情報が流出している疑いがあることが判明いたしました。現時点では、捜査当局に全面的に協力するとともに、事実関係の調査中であるため、事業への影響を合理的に算定することが困難であることから、今後、業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、 除外 一社

(注) 特定子会社の異動に該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、Trestor株式会社の株式を100%取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。なお、当第1四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,937,840株	2020年3月期	8,937,840株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	884,707株	2020年3月期	884,707株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	8,053,133株	2020年3月期1Q	8,053,133株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
(1) 販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症の影響により急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にあります。景気の先行きについては当面不透明な状況が続くと想定されます。

当業界におきましても新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、4月から5月にかけて発令された緊急事態宣言下では生徒及び従業員の安全を第一に考え、施設・教場について一部営業休止やリモートによる在宅勤務・在宅学習支援を行うとともに、新規の生徒受入も制限しながら事業活動を行ってまいりました。

一方で当社グループは、企業価値の最大化を追求し、長期的な事業拡大を行うべく、2020年5月には小学生を対象としたネイティブ英語環境を提供する学童保育施設「トレスターインターナショナルアフタースクール」の運営等を行うTrester株式会社を子会社化いたしました。

このような事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,113百万円（前年同期比23.2%減）、営業損失が332百万円（前年同期の営業損失は407百万円）、経常損失が319百万円（前年同期の経常損失は403百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失が338百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失は371百万円）となりました。

#### a. 教育事業

教育事業におきましては、前連結事業年度末をもって従来の「城南予備校」の運営を終了し、AIを使った自立学習とプロ講師による指導、徹底したICT学習管理を行う「城南予備校DUO」へ完全統合いたしました。これにより「学びの個別最適化」を進め、新たな教育ニーズへの対応とサービス向上を図るとともに、固定費の大幅削減を実現しております。

児童教育部門におきましては、4月に開校した「城南ブレインパーク」において複数の乳幼児向けサービスを1か所で提供できる体制を整えております。また、保育園の運営につきましては、城南ルミナ保育園と子会社である株式会社城南ナーサリー及び株式会社フェアリーが連携し、保育サービスの向上と規模の拡大を進めており、安定的な売上高を確保しております。

なお、前述の新型コロナウイルス感染症の影響により、保育園を除く各部門で新規入学募集の制限やリモート授業での在宅学習指導への切替え及び一部教場の休止などの影響があり、売上高の減少要因となっております。

一方で教育ソリューション事業では当社のWEB学習システム「デキタス」が多くの学校、自治体、学習塾で導入が進んでおり、新型コロナウイルス感染症による影響下でもニーズの高まりから売上高は増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,080百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

#### b. スポーツ事業

子会社である株式会社久ヶ原スポーツクラブでは、緊急事態宣言の発令によりスイミングクラブ及びスポーツジムが一定期間営業休止となるなど厳しい状況が続きましたが、6月以降は除菌対策・衛生管理を徹底したうえで運営を再開しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は33百万円（前年同期比62.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、5,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ838百万円減少いたしました。これは主にのれんが159百万円増加した一方、現金及び預金が984百万円、敷金及び保証金が48百万円減少したことなどによるものであります。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、2,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ440百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加した一方、未払金が302百万円、未払法人税等が83百万円減少したことなどによるものであります。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、3,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ397百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が421百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期業績につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による実体経済への影響等先行き不透明な状況が続いており、現段階において業績予想を合理的に算定することが困難なことから未定としております。

また、2020年7月16日付けの「ホームページに対する不正アクセス及びお客様情報の流出の疑いに関するお知らせとお詫び」でお知らせしましたとおり、当社の公式ホームページを管理しているWEBサーバに、第三者による不正アクセスがあり、ホームページ内のデータの消失とお客様の個人情報が流出している疑いがあることが判明いたしました。現時点では、捜査当局に全面的に協力するとともに、事実関係の調査中であるため、事業への影響を合理的に算定することが困難であることから、今後、業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,873,061	888,504
売掛金	143,142	119,587
有価証券	1,380	1,367
商品	68,508	63,127
貯蔵品	21,329	16,108
前払費用	240,919	233,991
その他	61,157	95,780
貸倒引当金	△7,901	△7,095
流動資産合計	2,401,596	1,411,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	837,519	849,375
工具、器具及び備品(純額)	41,663	41,867
土地	1,564,579	1,564,579
リース資産(純額)	113,948	104,974
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	2,557,710	2,560,796
無形固定資産		
のれん	433,611	593,216
ソフトウェア	110,693	105,189
その他	16,337	15,732
無形固定資産合計	560,642	714,138
投資その他の資産		
投資有価証券	238,506	264,999
関係会社株式	69,530	69,530
敷金及び保証金	618,391	570,279
その他	130,137	147,373
貸倒引当金	△12,360	△12,360
投資その他の資産合計	1,044,206	1,039,822
固定資産合計	4,162,559	4,314,757
資産合計	6,564,156	5,726,129

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,864	11,743
短期借入金	2,142	3,678
未払金	595,879	293,110
リース債務	43,718	42,163
未払法人税等	95,678	11,856
前受金	687,973	621,368
賞与引当金	67,887	54,805
校舎再編成損失引当金	24,804	18,274
その他	125,148	79,387
流動負債合計	1,663,096	1,136,387
固定負債		
長期借入金	35,644	130,128
リース債務	94,004	83,304
繰延税金負債	203,226	207,842
退職給付に係る負債	389,082	380,022
資産除去債務	237,179	243,576
その他	750	1,122
固定負債合計	959,887	1,045,996
負債合計	2,622,984	2,182,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,734	655,734
資本剰余金	687,095	687,095
利益剰余金	3,359,166	2,937,710
自己株式	△345,912	△345,912
株主資本合計	4,356,083	3,934,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△69,476	△45,446
土地再評価差額金	△345,435	△345,435
その他の包括利益累計額合計	△414,911	△390,882
純資産合計	3,941,171	3,543,744
負債純資産合計	6,564,156	5,726,129

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,450,692	1,113,955
売上原価	1,308,766	1,040,596
売上総利益	141,925	73,359
販売費及び一般管理費	549,757	405,761
営業損失(△)	△407,831	△332,402
営業外収益		
受取利息	59	109
受取配当金	6,012	5,010
受取手数料	760	1,640
受取賃貸料	1,382	1,573
補助金収入	-	4,119
その他	717	445
営業外収益合計	8,932	12,899
営業外費用		
支払利息	433	430
投資有価証券評価損	1,816	-
和解金	2,500	-
その他	-	58
営業外費用合計	4,749	488
経常損失(△)	△403,649	△319,991
特別利益		
補助金収入	54,000	-
投資有価証券売却益	6,750	-
事業譲渡益	13,714	-
移転補償金	50,533	-
特別利益合計	124,998	-
特別損失		
固定資産除却損	63	0
固定資産圧縮損	53,999	-
特別損失合計	54,063	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△332,714	△319,991
法人税、住民税及び事業税	32,607	11,885
法人税等調整額	3,549	6,248
法人税等合計	36,157	18,133
四半期純損失(△)	△368,872	△338,124
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,566	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△371,438	△338,124



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△368,872	△338,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,564	24,029
その他の包括利益合計	△2,564	24,029
四半期包括利益	△371,436	△314,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△374,181	△314,095
非支配株主に係る四半期包括利益	2,745	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. その他

## (1) 販売の状況

(単位：千円)

セグメント・部門	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
予備校部門(現役高校生)	150,824	—
予備校部門(高校卒業生)	63,578	—
個別指導部門(直営)	301,411	265,906
個別指導部門(F C)	56,023	55,061
映像授業部門	277,722	319,020
デジタル教材・児童教育部門	411,505	352,635
その他	99,789	87,745
教育事業 計	1,360,854	1,080,369
スポーツ部門	89,837	33,586
スポーツ事業 計	89,837	33,586
合計	1,450,692	1,113,955

- (注) 1. 予備校部門におきましては、校舎の統合・再編により、当第1四半期連結累計期間から売上は発生しておりません。
2. 映像授業部門におきましては、校舎の新規開校等により、売上が増加しております。
3. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、施設・教場について一部営業休止していたことや新規の生徒受入も制限していたこともあり、売上が減少しております。